臺灣日日新報
本日夕刊共四頁

畏し聖慮

海大卒業式に親臨

大本營にも御立寄あらせらる

陸軍作戰記錄畫を御熱心に御巡覽

遂川・衡陽を夜間爆擊

敵十機を擊破炎上す

狼狽の敵は同志討

死傷五百を出す騷ぎ

一兵長（一審戰記）

密林に我陣地守る

重圍の敵に決死突擊

米對土軍需品禁輸

ローマを盲爆

八百七十六機來襲

ラバウル一週間中に

週間戰況

支那方面

ビルマ方面

ニューギニア方面

ソロモン方面

中部太平洋方面

督府決戰非常措置

一兩日中に發表

官廳の常時執務

法制的に確立さる

赤軍大部隊を殲滅

ラトヴィア國境方面

敵機四十喪失

米最初の伯林空襲

米對亞國交を停止

英の恫喝不成功

トルコ態度嚴然

蔣介石の母の墓に大法要

烟大將

蔣の母の墓前供養

中國民心を打つ二挿話　我が武士道の眞髓

和平救國へ精進する陳中將

東西時事

ユダヤ人の祖國

米機廿一擊墜

督府人事異動

人事

けふの官報

ぜんそくの苦しみを救へ
專門藥頓服で効く
發作の時、發作の時用心の爲、一寸よく
ひろ喘息藥

文藝春秋　三月號　特價四十錢
日露戰爭の意義　中井良太郎
攘夷の本義　房内幸成
島ノ宮舍人ノ傳　神崎修
不拔の信　大鹿卓
志士の絕筆　山口青邨
歌・句・書　櫻井忠溫・川上嘉市・福井久藏・亘理章三郎
道生館の道統　今永正樹
炭坑の鼓動
芥川賞受賞作　和紙　東野邊薰
話の屑籠　菊池寛
芥川・直木賞銓衡經緯　日本文學振興會
東京都麹町區内幸町二　文藝春秋社發行

實業之日本　三月一日號
戰局の現實と生產戰
決戰文教體系の確立　小林澄兄
座談會　決戰生活と配給
生產增強と海上輸送
食糧增產の軍隊式方策
生產力と創意着想
產業人はかく鬪ふ　川上嘉市
徵用者と能率
勤勞と錬成
交戰各國の報道戰線　工藤信一良
玉碎英靈の感化力
熱禱す　南洋華僑の横顏　民族
增產と勤勞者の生活　藤林敬三

現代　三月號
國體と資本主義
決戰下食生活への反省
獨ソ戰の前途と獨の工業力
陸軍記念日特輯　戰局轉換
三月十日　肉彈　アッツ島挿話　大日本陸軍
昭和政談
大井上式農法體驗報告
創作　天風　緒方久

畏し 國母陛下 民草へ御仁慈

地久の佳節 寿ぐ一億民

【東京電話】皇后陛下におかせられては六日御めでたく第四十一回の御誕辰を迎へさせられ……

譽の妻の修養 懇談會

臺灣商議所臨時評議員會

たゞ實踐を求む

決戰生活展

皇國と共に行くべき道を行く者に勝利あり

胸うつ弔辭

「日曜抹殺」第一日

朗らかに、仇敵必殺！

曉天常會

戰ふ臺北市奉壯團

皇國勤勞觀

徹すべし

戰力增强と女子勤勞挺身隊

決戰の大空へ…闘ふヒットラーユーゲントの少年達

洩さぬ燈火で仕事に勵め

臺北州の農業關係團體解散

貯蓄券

平易なる國民的意思の試煉

賣り出す決戰生活展で

一期作目標百一萬石以上

食糧確保へ戰ふ新竹州

知事以下植付推進督勵

日曜無休

官民一致總力擧げ運動理念に徹せよ

高雄州知事 皇奉運動への抱負

兵事の重大性痛感

鈴木管府兵事課長談

猛稽古の成果を見る

若人銃劍術錬成大會

生活改善に就て婦人層に回答求む

地球鉛筆

今日の映画

新竹の映画

古着活用の羽毛ふとん

羽毛蒲團製作申込所

臺日案内

帝國少女演劇團

第九回決算公告

第八回決算公告

第三回決算公告

夕刊 臺灣日日新報

地久節に畏き思召

結核豫防事業 功勞者に御下賜品

【東京電】畏くも皇后陛下には六日地久の佳節にあたり多年結核豫防事業に盡力致し來つた功勞者濟生會以下六氏に對し特別の思召を以て白羽二重二疋ならびに金一封御下賜の御沙汰あらせられた、……

小泉厚相謹話

督府決戰非常措置成る

十五項目を決定 情報課發表

總督府に於ては二月二十五日閣議決定の非常措置要綱に卽應し、全島民卽戰士の覺悟を以て其の總力を直接戰力增强の一點に結集し、當面の各緊急施策の急速果敢なる實現を期する爲左の非常措置實施要綱を決定した

【府情報課發表】

學徒等動員體制徹底

國民勤勞體制の刷新

防空體制の强化

簡素生活徹底の覺悟

食糧配給の改善整備

空地利用の徹底

高級享樂の停止

重點輸送の强化

海運力の刷新强化

平時的又は調査計畫的事務及事業の停止

製造禁止品の範圍擴大及規格統一の徹底

中央監督事務の地方委任

裁判檢察の迅速化

保有物資の積極的活用

信賞必罰の徹底、査察の强化

官廳常時執務態勢の確立

外廓團體整理統合

決戰態勢に卽應し斷行

天機　御機嫌

月曜隨錄

醫專の入試

國語第一問題を見て

舊波國境西方の殲滅戰迫る

獨長距離砲 戰線で活躍

主婦之友 二月號

空襲をうけたらどうするか

生產戰に勝ち拔く決意

日の出 二月號

隣組防空の實戰訓練座談會

新潮社

皇后陛下には御健勝

擧島壽ぎ奉るけふの地久節

けふ六日は地久の佳節、畏くも皇后陛下にはおめでたく宝算四十二歳の御佳辰をお迎へ遊ばれた、陛下には國務御多端の折柄愈々御健勝に亙らせ給ふと承はり一億の民草あげてこの佳き日を寿ぎ奉る、この日本島では各官衙、學校、會社等では各所で共々「母屋の時間」を設け宮城を遙拜し奉る

皇后陛下御聖徳を奉頌し、また臨時の本部、州支部、市支會の日臨時部代表は午前十時臺灣神社に參拜し皇室の彌榮と大東亞戦争の完勝を祈願し、そして

皇后陛下の御仁慈を欽仰し奉ると共に決戦下婦人報國の誓を決意を新たにした

なほこの日を中心に全島各家々で母の會又は班主催で「母の會」が開かれ皇后陛下の御坤徳又は昭和十九年の決戦下における婦人の務めについて講演が行はれる

職場へ乙女の進軍

率先市長さんも送る愛娘

若い女性は働け

廣谷さん“父親の辯”

老松町區會から七千八百圓

飛行場獻納資金

三曲協會陸軍病院慰問演奏

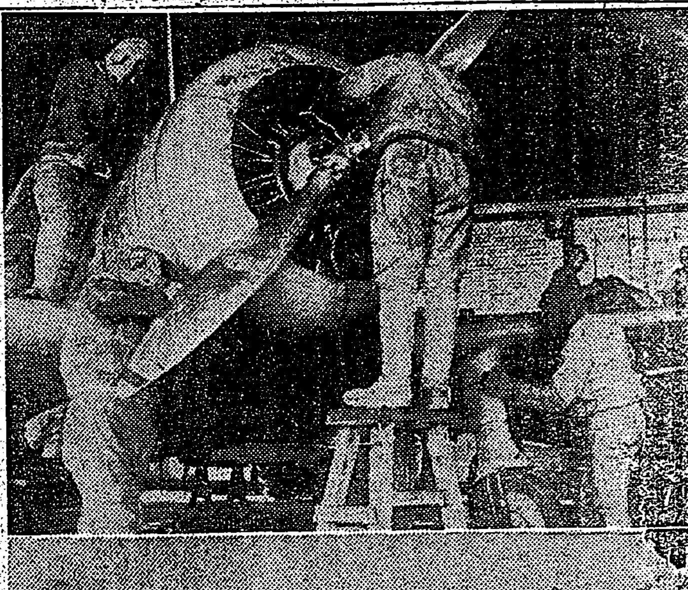
愛國お婆さん獻金

叙勲に感泣

三軍屬の遺族たち

夢に見る敵機撃墜

國軍飛行隊の雛鷲



建國十二年

十二年の試練を越えて

興農滿洲第二建設期へ

東久邇宮稔彦王殿下台臨

陸大專科卒業式

總督さん決戰生活展へ

奉公運動に挺身

臺北州出身“遣南會”を結成

全島師範學校生徒募集

獻穀田田植祭

けふ中壢三座屋で嚴修

華僑公會獻金

青年學校職員の指導錬成會

東港華僑公會總會

國方軍報道部長

ラジオ常會で講話

勝つ爲の決戰生活

皆して“實踐”約束しよう

森岡梅吉郎氏

侍水軍

(94)　村松梢風作　中一彌畫

戰海イワハた見で目のこ

然して宿毛じくど

―6―

松村保氏講演

お、機翼に日の丸

“やった”地軸搖がす炸烈音

拜む瞳に燃える眞珠灣

一千圓飛機獻金

【大阪支局發】

神戸製鋼所第貳回ろ號物上擔保附社債募集

三月六日限締切申候

募集ノ委託ヲ受ケタル會社代表

昭和拾九年三月六日

株式會社　臺灣銀行

荊妻繁穗儀豫而病氣療養中ノ處藥石不相叶三月五日午後一時死亡仕候間生前ノ御厚誼ヲ深謝シ此段謹告仕候

追而告別式ハ三月六日午後三時自宅ニ於テ執行仕候

昭和十九年三月五日

夫　松木豐雄

高山潤三郎

竹鼻直人

財津亮藏